

## 平成31年度第1回三原市地域公共交通活性化協議会 会議概要

日時：令和元年5月22日（水） 13：30～14：45

場所：三原市役所 3階 304～306 会議室

出席者：20名（欠席1名）

内容：

### 1. 開会あいさつ

### 2. 自己紹介

### 3. 報告事項

(1) 第2期三原市地域公共交通網形成計画策定支援業務プロポーザル選定委員会委員の選任

(2) 第2期三原市地域公共交通網形成計画策定支援業務仕様書等の作成について

[事務局から資料1, 2により報告]

[質疑応答]

意見なし

(3) 平成30年度地域コミュニティ交通の利用実績について

[事務局から資料3により報告]

[質疑応答]

各委員：久井ふれあいバスは定時定路線でこまめにバス停を設置してはいるが、バス停まで出てくるのが大変で、アンケートではデマンドの要望も出ているのでそちらの検討も期待したい。また、男女別利用者では女性の利用が多いデータがあったが、女性は長寿だったり、男性は運転免許の返納が進まないといった要因があると思うが、利用促進を図るうえで男性に公共交通に目を向けていただく施策に取り組むと利用者増加の余地があるのではないかと思う。

事務局：久井地域の公共交通については、地元の団体などとの連携を取らせていただいているので、より良い方向へ行くよう協力していく。男女比率については事故防止の面もあるので、広く啓発をしていきたい。

### 4. 協議事項

(1) 令和2年度地域内フィーダー系統確保維持計画（案）について

[事務局から資料4により説明]

[質疑応答]

各委員：久井ふれあいバスについて、フィーダー計画の中でも年々利用者が減少していることが書いてあり、収支率も料金を払って利用する一般利用がいらないのが厳しい状況につながっているのではないか。通院利用者にも料金を払って利用してもらうのは難しいのか。

事務局：久井ふれあいバスはもともと合併前から運行する医療機関への患者輸送バスである。利用者負担も考える必要はあると思うが、今の段階ですぐに料金を徴収するのは難しい。今後運行形態も含めて地元と協議を進めていきたい。

議長：この計画案について了承されたということで、この計画書とおりに申請する。

(2) 平成 30 年度三原市地域公共交通活性化協議会事業概要及び会計収支決算書（案）について

[事務局から資料 5 により説明]

[質疑応答]

意見なし

議長：会計収支決算書案については了承されたということで、とりまとめる。

(3) 尾道広島空港線の三原市への乗入れに対する協議について

[事務局から資料 6 により説明]

[質疑応答]

各委員：本郷 IC から空港までの本郷町内を通るが、その間に利用者の乗降はないか。

事務局：乗降はない。

議長：三原市への乗入れについては了承いただいたということで、とりまとめる。

## 5. その他

各委員：先程言い忘れたが、資料 3 の利用実績と資料 4 のフィーダー計画について、資料 4 の表 1 の資料に路線バスとの接続が記載されている。フィーダー系統なので、幹線へ接続するという位置付けとなり、例えば、さくら号では垣内バス停で甲山三原線の中国バスに接続するとなっている。資料 3 のさくら号の利用実績では行先別の利用者数があり、垣内バス停で幹線路線バスへ接続しており、フィーダーとして機能していると分かる資料であった。それに対して、本郷や大和では行先別の状況がないので、今後行先別の状況も掲載したほうが今後の検討する資料にもなる。

事務局：本郷ふれあいタクシーについては、行先別の資料も毎月提出されているので、今後は資料として提供したい。

## 6. 閉会